

委員会レポート

常任委員会

産建文教 エナテック株式会社の業務開始に期待

12月18日に本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査及び現地調査を行いました。

牛海綿状脳症（BSE）全頭検査に対する全額補助継続の請願は、消費者の信頼を失わず農業の基幹産業である畜産を継続するために必要であると全会一致で採択となりました。教育予算の拡充を求める意見書提出の請願も教育は未来への先行投資であり、格差があつてはならないと全会一致で採択となりました。

産業振興課から、次の事項について報告を受けました。

米政策について、町内農家の大部分が、米価下落により打撃を受けています。行政として支援センターを立上げ対応を検討していきます。

町内の景況について、製造業は業種により企業間格差はあるが、自動車部品関連や電子部品関連などは堅調に推移しています。

建設業界は民間受注が低調で、公共事業も減少のため厳しい状態が続いていると説明がありました。

（財）白鷹町アルカディア財団の11月末までの経営状況は、前年比1235万円ほどの売上げ減となっています。さらに燃料代の上昇により経費が増えているとの報告がありました。



エナ・テック(株) 現地調査

総務厚生 再度法務局長井支局の存続の申し入れを

12月14日、委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

安心安全のまちづくり条例（案）は、県内では白鷹町を除く全市町村で制定済みであるとの説明を受けました。条例案第4条、町民の責務での表現は、検討を要するべきとの意見が出されました。

高畠町に建設される置広余熱利用施設の概要と、町のバランスシート（資産状況）の説明がありました。

町振興実施計画は、第4次総合計画の集大成であるとの説明がありました。

国民健康保険税の税率改正では、後期高齢者医療制度による急激な被保険者の減少や、減らない医療費の実態についての説明がありました。

毎年の税率の引き上げでは、未納者が増えるのではないかとの意見が出されました。

山形地方法務局長井支局の統合と長井クリーンセンターのし尿処理施設については、9月議会以降の動向について説明がありました。

特に法務局長井支局の統合については、町民負担が増すので再度長井支局の存続を強く法務局に申し入れるべきとの意見が出されました。

美しい郷づくり基金条例（仮称）の説明がありましたが、課題があるためさらに精査したいとの事でありました。

町保育の将来ビジョン（中間報告）について現在まで検討を行ってきた内容についての説明がありました。



昨年度導入された防犯パトロール車

委員からは、前年度決算での債務が1億1700万円になった理由の検証が必要であり、分かりやすい資料の提出が必要との意見が出ました。

鮎貝に誘致したエナテック株式会社の現地調査では、製造する電気蓄熱床下暖房用設備などの内容や作業工程の説明を受け、業務開始を1月7日から行うとのことで、今後に期待しました。

特別委員会

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

事業の進捗よく状況は（仮称）白鷹町文化交流センターは、本体の建設工事が19年8月から着工され、基礎部分が姿を現しました。

現在、工事出来高8.4%で今年度45%の完成を予定しています。

工期は、平成20年12月10日となっております。（工事費6億3000万円、工事請負者、那須・丸ト特定建設共同企業体）

平成21年秋オープンに向けて、今後、多目的ホールやギャラリーなどの運営、管理などソフト面の充実が重要となってきます。

なお、土地区画整理事業の分譲の状況は、107区画中38区画の36%、その内一般分譲は、69区画中9区画が分譲済みとなっています。



文化交流センター 現地視察

戸建て住宅を建設

12月12日特別委員会を開催し、事業の進捗よく状況や今後の予定などの説明を受けました。

若者定住、子育て支援を目的とする賃貸住宅の建設は、当初の集合住宅の計画を変更し、騒音や生活パターンなどの子育てに配慮した戸建て住宅とし、文化交流センターの隣接地に15戸（一期計画では12戸）を建設する計画です。子育てへの安全性から、給湯・暖房はオール電化を採用することです。

当初計画した24戸を建設するには、新たに、残り9戸分の用地の確保が必要となってきます。

委員からは、建設費が高すぎないか、核家族化の助長につながるかななどの意見がありました。